

# 令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

|     |            |
|-----|------------|
| 学校名 | 佐賀市立諸富北小学校 |
|     | 児童数 232人   |

## I. 取組前の宣言内容

|    |      |   |
|----|------|---|
| 宣言 | 目標   | 出あおう いい本<br>育もう いい心<br>～家庭・地域と連携した読書活動の充実を目指して～ |
|    | 取組期間 | 令和6年(2024年)4月8日 ～ 令和6年(2024年)年11月30日            |

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

## II. 取組後の評価

|    |              |   |      |      |      |        |         |     |
|----|--------------|---|------|------|------|--------|---------|-----|
| 評価 | 取組人数         | 232人  | 実施日数 | 237日 | 読書冊数 | 26001冊 | 連携した団体数 | 3団体 |
|    | 取組内容<br>(概要) | 1, 日常的な読書活動の推進<br>2, 足を運びたくなる図書室の環境づくり<br>3, 家庭・地域と連携した読書活動の充実<br>4, 児童主体の委員会活動<br>5, 学習センター機能の充実   |      |      |      |        |         |     |
|    | 工夫したこと       | <b>1. 日常的な読書活動の推進</b><br>①朝の帯活動として「読書タイム」を設定し、日常的に読書に取り組ませている。<br>②週末の家庭学習を工夫し、毎週家庭で読書する時間を設け、取り組ませている。<br>③毎月、地域のボランティアの方に「読み聞かせ」をしていただいている。<br>④各学年の児童に読んでほしい本を「にじいろ50選」として選び、読書を勧めている。<br>10冊ごと読み終わるたびに図書室でくじ引きができる仕組みにし、楽しみながら50冊を読み進められるようにした。「50選」の完読者は毎月の全校昼会で紹介され、校長から表彰されることになっている。にじいろ50選を達成した人は、図書室入り口近くの廊下に写真をはっている。発達段階に合わせた良書に親しむ取り組みとなっている。<br>⑤毎月発行している「図書館だより」で「にじいろ50選」達成者や100冊、200冊達成者の紹介を行っている。<br>⑥図書室の壁面に「北っこだくしよの木」コーナーがある。100冊、200冊、300冊ごとの花や実がなる仕掛けになっている。<br>⑦全校児童で「読書ノート」を活用している。高学年はタブレット端末を活用して、読んだ本の題名とその感想を同じ学級の児童同士で共有し、楽しみながら読書の幅を広げている。校長がお昼の放送で児童の感想を紹介している。<br>⑧夏休み・冬休みには長期休業中の図書室の開館日が一目で分かり、長期休業期間中の読書記録を残すことができる「読書カレンダー」を配付し活用させている。<br><b>2. 足を運びたくなる図書室の環境づくり</b><br>①季節や学校行事に合わせた掲示を行い、明るく楽しい図書室づくりを行っている。<br>②本を分類番号順に配架し、一目でわかる表示を設置することで、本を探しやすく、整理しやすい環境を整えた。<br>③図書委員おすすめの本の紹介コーナーを図書室に設け、読書の幅を広げるための取り組みをしている。 |      |      |      |        |         |     |

- ④年度初めに人通りの多い掲示板に先生方のおすすめの本紹介コーナーを設け、読書に興味を高めてもらう取り組みを行った。
- ⑤コーナー展示を充実させている。(新刊図書コーナー・市立図書館の本コーナー・過去の課題図書コーナー等)
- ⑥新たに読書ルームを設置した。空き教室を活用して図書室に隣接する教室を読書ルームとして整備し、静かに本を読むことができる場所を増やした。読書ボランティアによる昼読み会や図書館祭りのイベント等を行うなど、読書に関連する様々な活動を行う場所と位置付けている。
- ⑦図書館まつりのイベントの一つに、外国語専科教員による英語の絵本の読み聞かせを行っている。

### 3. 家庭・地域と連携した読書活動の充実

- ①月に一度家庭で行うノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデーに合わせて親子読書「ぼかばか読書」の取り組みを行っている。
- ②読み聞かせボランティア「お話オルゴール」による読み聞かせを毎月第1水曜日の朝に行っている。
- ③読み聞かせボランティア「お話オルゴール」による読書ルームでの「昼読み会」を毎月第4水曜日に実施している。
- ④佐賀市立図書館・分館の諸富館と連携して、読書活動が充実できるようにしている。近くにある市立図書館分館の諸富館のイベントは積極的に紹介し参加を呼びかけた。
- ⑤保護者へ向けて、「諸富北小学力向上だより」を発行しており、その中で音読や読書が子ども達に与える良い効果等を情報発信し、読書活動の啓発を図っている。
- ⑥市立図書館や他校から本を集め、国語科学習での、同じ作者の書いた文学について、読み広げられるように環境を整えた。
- ⑦年2回佐賀市立図書館から団体貸し出しをして学校にない本児童に貸し出している。

### 4. 児童主体の委員会活動

- ①図書室の使い方オリエンテーション動画を作成し、活用した。図書室利用のルールについて全校で共通理解することができた。
- ②図書委員の児童が企画・運営する図書館まつりを実施した。

### 5. 学習センター機能の充実

- ①国語辞典・漢字辞典のクラス貸し出しを行い、学習活動に活用した。
- ②授業と連携した教科学習関連図書を積極的に活用し、学習を行った。
- ③相互貸借「情報流通システム」を活用し、充実した調べ学習ができるようにした。
- ④国語科の言語活動で図書資料を活用して完成させた「どうぶつのはみつ」図鑑を冊子にして展示し、学習の成果物を披露する場としても図書室を活用している。

取り組んだ感想

諸富北小学校の図書室は校舎3階の一番端にあり、各教室からは一番遠い位置にある。そのような教室配置環境から、児童が気軽に来室できる場所にないため、図書室への利用者がとても少ないと感じていた。児童の来室機会を増やし、実際に本を手に取り、図書室を身近に感じてもらえるよう考え、取り組みを行った。その結果、「読書活動への取り組みを積極的に行った。」と回答した職員は100%(昨年度93%)に上昇し、「にじいろ50選や自分で選んだ本を読んでいる。」と回答した児童の割合は93%(昨年度86%)に改善した。昨年度より読書活動を充実させることができていると職員・児童共に感じていることが分かった。

今後の取組予定

(令和6年(2024年)12月  
～令和7年(2025年)3月)

読書活動充実のため、継続した取り組みを行っていく。最終的には学年末に「北っこにじいろ50選」を達成した児童が70%以上、図書室での本の貸し出し年間100冊以上を達成した人が90%以上になることを目指していく。

# 諸富北小学校 「スクール読書チャレンジ運動」 写真資料



図書室入り口の掲示板には、季節を感じられる飾りを貼り、明るく楽しい雰囲気づくりを行った。毎月発行している図書館だよりも掲示している。



佐賀市立図書分館の諸富館専用のボードに、諸富館のイベント情報やお知らせを掲示している。

にじいろ50選を完読した児童の写真を掲示し、にじいろ50選の読書を推奨している。完読した児童にも喜ばれている。



「新着図書コーナー」、「おすすめの本コーナー」「季節や行事に合わせたコーナー」今年や過去の読書感想文の課題図書を一か所に集めた「課題図書コーナー」、など各コーナー展示を充実させている。





高学年のタブレット PC を活用した「読書ノート」。読書の記録を入力して、互いに感想を交流している。



紙の読書ノートも全学年で活用しながら、週末読書に取り組んでいる。

空き教室を活用して図書室に隣接する教室を「読書ルーム」として整備した。静かに本を読んだり、読み聞かせボランティア「お話オルゴール」による昼読み会や図書館祭りのイベント等を行ったりするなど、読書に関連する様々な活動を行う場所として活用している。







国語科の言語活動で図書資料を活用して完成させた「どうぶつのひみつ」図鑑を展示し、学習の成果物を披露する場としても図書室を活用している。



オリエンテーション動画



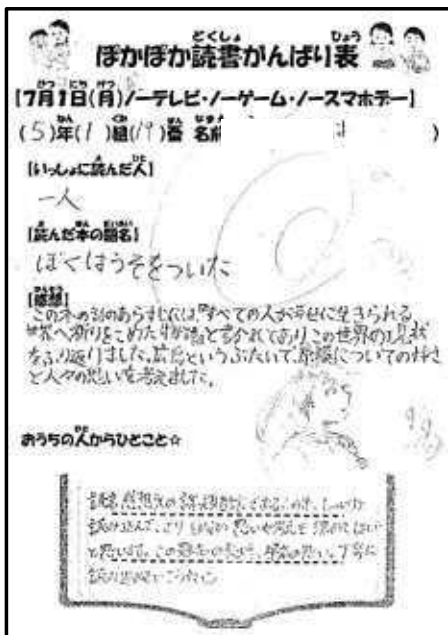
図書館祭りイベントの様子より



児童主体の委員会活動

← ↑ 図書委員児童による読み聞かせ

貸し出し業務の様子→



月に一度家庭で行っているノータレビ・ノーゲーム・ノースマホデーに合わせた、親子読書「ほかほか読書」の取り組み。↑



地域の読み聞かせボランティア「お話オルゴール」の方に、全クラスでの読み聞かせをしていただいている。

